

---

# 練習ノート

谷崎泉

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

練習ノート

### 【Nコード】

N4933Z

### 【作者名】

谷崎泉

### 【あらすじ】

文章の構成や描写などを練習しているものであって、作品とは名乗れない代物であります。

故に、娯楽を求めに覗きにくるそのあなた。時間の無駄です。他の優れた作品を御覧になってください。

しかし、物好きで少々風変わりな、とるに足りないものを批評する時間のある、そのあなた。私はあなたを歓迎致します。

私は、辛口でも苦味でも喜んで受けます。

ただし、「泣ける?」とか「つまらん?」とか、どういった過程からその結果に至ったのかわからぬ、腐った批評はいりません。

天才の生み出す世界に、少しでも近付きたいものです。

(前書き)

時計

黒く細い、何の光沢もない無機質な腕が「10」に触れようとしている。

ただ、どこにいいのか、それを伝えるためだけに生きている。そのものだけを見てしまえば、無骨でばつとしない。

しかし、私はかの者のおかげで生活が成り立っている。

今に生きる私は君たちがいないと「社会」なるものに消されてしまふのだ。

ああ、なくてはならぬ存在なのだよ。

ただ、ときどき、私は君を見たくないときがある。

時を伝えてくれるきみから解放されたいと思うときがある。

すまない、とんだ戯れ言だ。きみの見つめる眼差しから逃れることは出来ないとわかっている。

役に立たない装飾で己を着飾るよりも、ずっと頼もしい、君は。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4933z/>

---

練習ノート

2011年12月16日20時55分発行